

## ニホンジカの保護及び管理に関するレポート（令和 5 年度版） 骨子案

1. 2018（平成 30）～2023（令和 5）年度のニホンジカの保護・管理をめぐる動き【P1～P2】
2. 今年度のレポートのテーマ【P3】

テーマ： 被害に関する管理目標と、その達成に向けた個体数や生息密度に関する目標設定

### 3. 特定計画における目標設定の課題（新旧特定計画の比較調査結果から）【P3～P4】

- 被害に関する数値目標を設定している計画は、2017（平成 29）年度に実施した第 12 次特定計画を対象とした調査（以下、「12 次計画調査」）では 8 計画であったのに対し、2022（令和 4）年度に実施した第 13 次特定計画を対象とした調査（以下「13 次計画調査」）では 20 計画と増加（図 1）。
- 個体数や密度に関する数値目標を設定している計画は、12 次計画調査時は 38 計画、13 次計画調査時も 38 計画であり、多くの計画で設定（図 2）。
- 一方で、被害に関する管理目標を達成させるためには、どの程度の個体数や生息密度を目標値として設定すればよいか等、指標間の関係性を踏まえて数値目標を設定している計画は 8 計画と少ない状況（表 1）。

→個体数や生息密度の目標を達成しても、被害の軽減につながらない可能性。

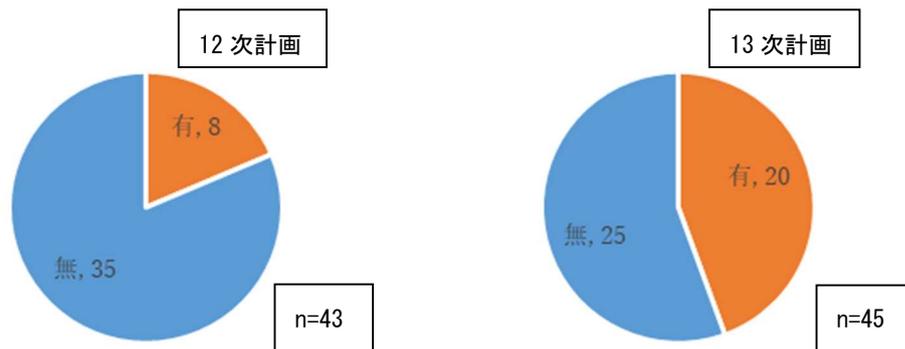


図 1 被害に関する数値目標の設定状況  
左：12 次計画調査、右：13 次計画調査

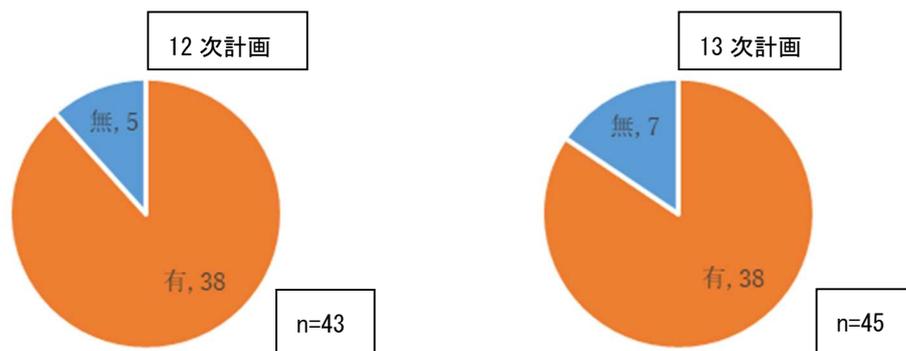


図2 個体数や密度に関する数値目標の設定状況  
左：12次計画調査、右：13次計画調査

表1 13次計画における被害に関する指標と生息状況に関する指標の分析

都道府県	分析している関係
福井県	・ 下層植生衰退度と生息密度
静岡県	・ 農林業被害と生息密度
愛知県	・ 農業被害金額と生息密度
三重県	・ 農業被害程度と生息密度 ・ 森林下層植生衰退度と生息密度
大阪府	・ 農業被害強度と推定生息密度 ・ 下層植生衰退度と推定生息密度
兵庫県	・ 農業被害と SPUE ・ 森林下層植生衰退度と SPUE ・ スギ食害の程度と SPUE
奈良県	・ 農業被害程度と SPUE
徳島県	・ 農業被害程度と生息密度 ・ 果樹剥皮被害程度と生息密度 ・ 森林下層植生衰退度と生息密度

#### 4. 被害に関する指標と生息状況に関する指標の関係性の分析【P5～P9】

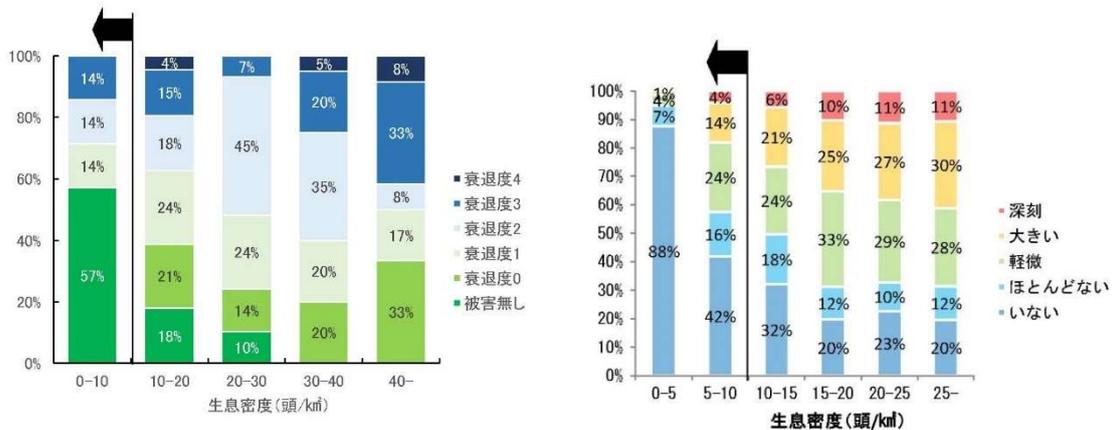
##### ■ 事例紹介①

##### ➤ 三重県

- 第5期特定計画における目標を「森林下層植生の衰退度が2以上の地点を30%以下にする」、「農業被害程度が「深刻」または「大きい」集落の割合を20%以下にする」と設定。
- 個体数調整の目標として、「被害軽減のための密度管理の目標値を10頭/km<sup>2</sup>以下」と設定。

→森林下層植生衰退度調査、農業集落アンケート調査、生息密度調査、それぞれの調査方法、データの整理方法。

→森林下層植生衰退度と生息密度、農業被害程度と生息密度、それぞれの比較分析方法。



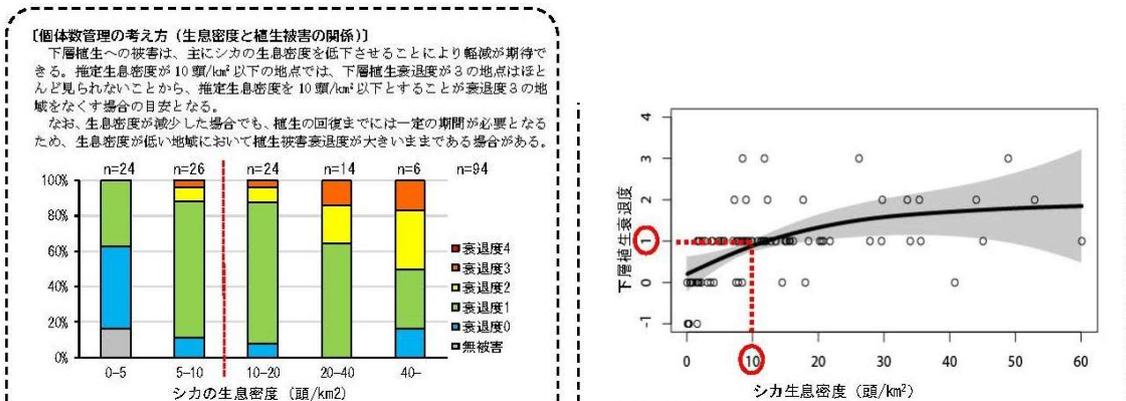
「第二種特定鳥獣管理計画（ニホンジカ）（第5期）」（三重県）より抜粋

図3 下層植生衰退度とニホンジカ生息密度の関係（左）、農業被害程度とニホンジカ生息密度の関係（右）

■ 事例紹介②

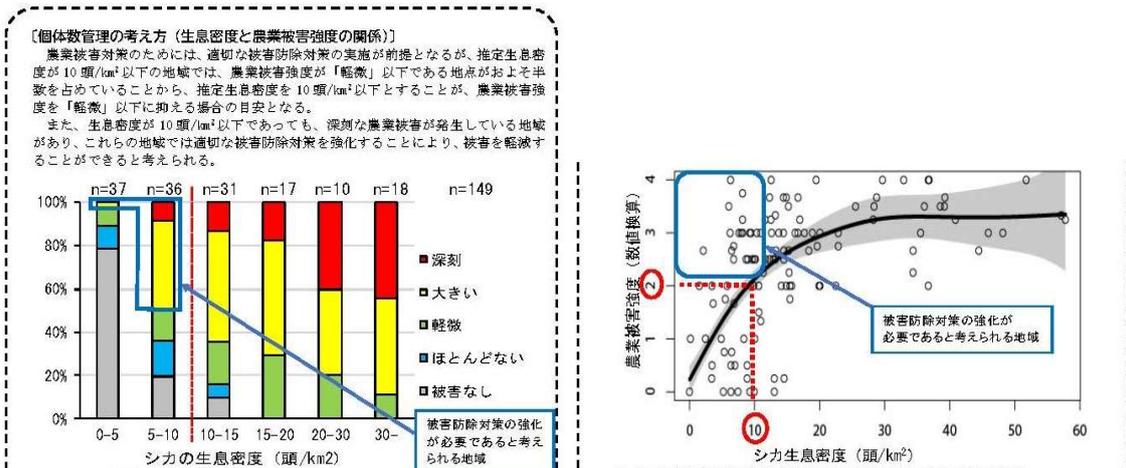
➤ 大阪府

- 特定計画の長期目標を「下層植生の衰退度を各調査地点において1ランク以上低下させ、衰退度3の地域をなくすこと」、「農業被害強度が「大きい」又は「深刻」である地域をなくすこと」と設定。
  - 個体数管理の北部地域の長期目標として「推定生息密度が10頭/km<sup>2</sup>以上の地域をなくす」と設定。
- 森林下層植生衰退度調査、農業集落アンケート調査、生息密度調査、それぞれの調査方法、データの整理方法。
- 森林下層植生衰退度と推定生息密度、農業被害程度と推定生息密度、それぞれの比較分析方法。



「大阪府シカ第二種鳥獣管理計画（第5期）」より抜粋

図4 生息密度と下層植生衰退度の関係



「大阪府シカ第二種鳥獣管理計画（第5期）」より抜粋

図5 生息密度と農業被害程度の関係

### ■ 事例紹介③

#### ➤ 徳島県

- 第5期特定計画の目標を「森林下層植生の衰退度を3未満にする」、「農業被害程度が、深刻または大きい集落の割合を15%以下にする」と設定。
- 個体群管理目標として「被害軽減のための密度管理の当面の目標値を10頭/km<sup>2</sup>」と設定。
  - 森林下層植生衰退度調査、農業集落アンケート調査、生息密度調査、それぞれの調査方法、データの整理方法。
  - 森林下層植生衰退度と推定生息密度、農業被害程度と推定生息密度、それぞれの比較分析方法。

### 5. 年度別実施計画の策定状況とメリット【P10~P12】※参考資料2参照

- 年度別実施計画の策定状況（2022（令和4）年度のアンケート調査結果）
- 年度別実施計画の内容例（捕獲目標数の配分など）
- 年度別実施計画の効果